

エコ容器活用モデル事業について

1. 概要

市では今年度、環境省の「ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業」実施自治体に採択され、イベントでの使い捨てプラスチック容器の削減に取り組みました。
 ※昨年度実施したリユース食器活用モデル事業に続く、イベントでの使い捨てプラスチックごみ削減を目的とした取組みです。



2. ローカル・ブルー・オーシャン・ビジョン推進事業

海洋ごみの回収・発生抑制の実効性を高めるため、自治体と企業等の連携による自走性のある取組を支援し、広く展開することを目的とした環境省の事業です。

※海洋ごみの8割は陸から出たごみと言われています。弘前市は海に面していませんが、市内で発生したごみが河川等を通じて海へ流出している可能性もあり、他人事ではありません。一人ひとりが海ごみ問題を認識し、消費行動やライフスタイルを見直していくことが求められています。

3. エコ容器

(株)ヨコタ東北(山形県新庄市)が開発したP&P・リリパックは、シートをはがすだけで、洗浄しなくても汚れのない綺麗な状態で回収され、新たな容器に水平リサイクルできるものです。弘前大学生協同組合オリジナル弁当にも採用されていて、弘前大学生協との「ごみの減量化・資源化の取組に関する協定」(R3.11)の中で、このエコ容器の活用方法を検討しました。

エコ容器の回収方法



**水資源を守る！
ごみを減らす！
天然資源を守る！**



4. 市内イベントでのモデル事業

実施イベント:2022津軽の食と産業まつり

期間:10/14(金)~10/16(日)

エコ容器使用協力店:24 店舗

・会場内の各地にエコ容器のポスター掲示を行い、来場者・出展者に海ごみゼロを啓発
(ナッジ理論を活用した啓発)

→リサイクル活動や CO₂削減の見える化



・弘前大学生協と協力してエコステーションを設置し、エコ容器とごみの分別回収を行い、来場者・出展者に海ごみゼロを啓発(ナッジ理論を活用した啓発)

→来場者にシートをはがしてもらう(体験型)

→脱プラ意識アンケートを呼びかけ、協力者には海洋プラ製のボールペンをプレゼント



・回収した容器の数:3,923 個

→プラスチックごみ削減量:78.46 kg

→CO₂削減量:164.77 kg(杉の木約4千本が1日に取り込む量に相当)

・資源物回収量:30.74kg(ペットボトル…14.3 kg、かん…6.48 kg、びん…9.96 kg)